

飼料作物の貯蔵

畜産課

栄養価の高い青刈飼料作物も、その貯蔵の仕方によっては栄養分に大きな損失を招きます。

貯蔵は普通サイレージにするか、乾草にするかして行うわけですが、栄養分の保存や利用率の点から言いますと、生草のときに較べて乾草にした場合50～75%、サイレージの場合は70～85%利用することができますので、サイレージの方が少し勝っているようです。

サイレージには、円筒型のサイロによる場合と、地面に穴を掘って詰めるトレンチ方式とがありますが、数円前からこれに塩化ビニール被覆が応用され好成绩を挙げていますので、サイロの詰込みを行う場合には是非これを活用してよい品質のものを造りたいものです。使用するビニール幕は普通の農業用塩化ビニールでもよいわけですが、サイロ用のものも販売され

ていますので、これを利用するのが便利です。

良質のビニールサイレージを造る注意としては、特に材料を細切りして（1.5～2種類）踏み付けを充分にすること、水分が多過ぎないこと、（水分の多い材料の場合には少し乾燥させてからにするか、藁、ビートパルプその他を混ぜて調節する）踏み込み後はすぐにビニールで被覆して外気と遮断する、詰込1週間後さらに数人でよく踏み付けるなどのほか、内部に水が入らないよう簡単な屋根を設け、トレンチ式の場合には排水溝を付けておきます。